


腎尿管全摘除術(水曜手術)患者さんパスシート(No.1)

ID	
氏名	
生年月日	

診療科名	泌尿器科		
入院予定期間	入院日	年	月 日
	退院日(予定)	年	月 日

月日	/
経過	入院1日目(手術前日)
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・手術に臨むための心身の準備をしましょう。 ・手術や麻酔の目的について理解しましょう。 ・手術に伴う転倒の危険性があること、また転倒予防について理解しましょう。
検査	<ul style="list-style-type: none"> ・麻酔科の診察があります。 ・麻酔について不明な点は医師や看護師に伝えましょう。
排泄	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日排尿回数や排便状況を確認します。 
観察	<ul style="list-style-type: none"> ・尿の状態(色、量)を観察します。
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・24時以降は食事や飲水をすることができません。
活動	<ul style="list-style-type: none"> ・制限はありません。病棟を30分以上離れる場合はお申し出下さい。 ・手術後、排液の管が挿入中は入浴が禁止となります。手術前日に入浴しましょう。
薬	<ul style="list-style-type: none"> ・お薬を内服されている方は、お薬手帳と一緒に2週間分程度お持ちください。医師、薬剤師が確認し継続するかどうか確認します。抗凝固薬内服中の方は看護師へ伝えて下さい。 ・夕食後に下剤を内服していただきます。
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> ・入院生活・手術についての確認を行います。不安なことや疑問点がありましたら、看護師へお尋ねください。 —手術に必要な物品— ・持参の浴衣か院内レンタル1枚 ・T字帯1枚 ・持参か院内レンタルバスタオル1枚 ・腹帯1枚(着替え用にもう1枚あると便利です) ・弾性ストッキング(病棟にて用意します)



このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。

なお、病状に応じて変更することがありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

腎尿管全摘除術(水曜手術)患者さんパスシート(No.2)

ID	
氏名	
生年月日	

診療科名	泌尿器科			
入院予定期間	入院日	年	月	日
	退院日(予定)	年	月	日

月 日	/	
経過	2日目(手術当日:手術前)	2日目(手術当日:手術後)
達成目標	・術前処置を受け、手術に向けての準備をしましょう。	・身体の苦痛がある時には我慢せずに看護師に伝えましょう。
検査		・手術後に採血をします。
排泄	・排便状況を確認します。	・排尿の為の管が入ります。 ・排便はベッド上で差し込み便器を使用し行います。
観察		・尿の状態(色、量)を観察します。 ・痛みの程度を観察します。 ・酸素終了まで1時間毎に体温・血圧・脈拍の測定があります。
食事	・引き続き食事、水分をとることはできません。 ・うがいをすることはできます。	・術後当日は禁食です。 ・飲水は酸素終了後より可能です。
薬	・朝、少量の水で薬を内服して頂くことがあります。	・24時間点滴を行います。 
活動	・手術室へ移動します。 ・義歯・貴金属類は全て外します。浴衣に着替えます。 ・麻酔の妨げになることがありますので、男性は髭を整えてください。	・ベッド上安静です。 ・体を横向きに変えることはできます。管が繋がってきているため、最初は看護師が説明しながら介助します。
治療	・血栓予防のためのストッキングを着用して頂きます。 ・13時以降の手術の場合は、午前中に点滴を行うことがあります。	・酸素吸入をします。
説明指導	・貴重品は金庫に入れて鍵をかけて下さい。	・痛みなど症状に合わせて薬を使用します。遠慮なくお知らせ下さい。

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
なお、病状に応じて変更することがありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

腎尿管全摘除術(水曜手術)患者さんパスシート(No.3)

ID	
氏名	
生年月日	

診療科名	泌尿器科		
入院予定期間	入院日	年	月 日
	退院日(予定)	年	月 日

月 日	/
経過	3日目(手術後1日目)
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・痛みがあるときや気分が悪い時は看護師に伝えましょう。 ・ドレーンや尿の管、点滴の針が抜けないように気を付けましょう。 ※ドレーン: お腹の中に入っている排液の管のこと。 ・看護師の介助のもと歩きましょう。 ・転倒の危険性があること、また転倒予防について理解しましょう。
検査	・適宜採血やレントゲンの撮影を行います。
排泄	<ul style="list-style-type: none"> ・尿の管が入っています。 ・歩行できればトイレで排便が可能になります。 ※便秘気味な方は看護師にお伝え下さい。排便時に力んでしまうと出血を助長することがあるため、整腸剤を処方します。
観察	<ul style="list-style-type: none"> ・尿の状態(色、量、性状)を観察します。 ・排液の管の状態(色、量、性状)を観察します。 ・痛みの程度を観察します。
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・感染予防の為、1日1~2リットルの飲水を目標にして下さい。 ・お食事は排ガスが出てから開始となります。 ※流動食→五分粥→全粥→常食の順番で出てきます。術後専用の食事となるため常食と なるまでは間食はお控えください。
活動	・看護師の介助のもと歩行を始めましょう。歩行の状況に応じて、その後も看護師の付き添いが必要か判断させていただきます。
治療	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き点滴を行います。 ・歩行できたら、血栓予防の機械を外し弾性ストッキングを脱ぎます。 ・痛みなど症状に合わせて薬を使用します。
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> ・管が抜けないように気を付けましょう。 ①ベッドの柵に管が引っかからないように気を付けましょう。 ②衣類の着脱時などに、管が引っ張られないように気を付けましょう。 ・痛みや気分不快があれば、看護師にお伝えください ・水を飲み始めて、腹痛や吐き気・お腹が張るなどの気になる症状があれば、看護師にお伝えください。





このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更することがありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

腎尿管全摘除術(水曜手術)患者さんパスシート(No.4)

ID	
氏名	
生年月日	

診療科名	泌尿器科			
入院予定期間	入院日	年	月	日
	退院日(予定)	年	月	日

月日	/		
経過	4日目(手術後2日目)		
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・痛みがあるときや気分が悪い時は看護師に伝えましょう。 ・ドレーンや尿の管、点滴の針が抜けないように気を付けましょう。 ・活動範囲を広げましょう。 ・転倒の危険性があること、また転倒予防について理解しましょう。 		
検査	・採血やレントゲン撮影を適宜行います。		
排泄	<ul style="list-style-type: none"> ・尿の状態(色、量、性状)を観察します。 ※便秘気味な方は看護師にお伝え下さい。排便時に力んでしまうと出血を助長することがあるため、整腸剤を処方します。 		
観察	<ul style="list-style-type: none"> ・尿の状態(色、量、性状)を観察します。 ・排泄の管の状態(色、量、性状)を観察します。 ・管を抜いた後は、抜いた所からの出血や痛みがないか観 ・痛みの程度を観察します。 <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>		
食事	・感染予防の為、1日1~2リットルの飲水を目標にして下さい。		
活動	<ul style="list-style-type: none"> ・制限はありません。 ・病棟を30分以上離れる際にはお申し出ください。 <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>		
治療	<ul style="list-style-type: none"> ・点滴が終了します。 ・痛みなど症状に合わせて薬を使用します。遠慮なくお知らせ下さい。 		
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> ・管が抜けないように気を付けましょう。 ①ベッドの柵に管が引っかからないように気を付けましょう。 ②衣類の着脱時などに、管が引っ張られないように気を付けましょう。 ・痛みや気分不快があれば、看護師にお伝えください ・水を飲み始めて、腹痛や吐き気・お腹が張るなどの気になる症状があれば、看護師にお伝えください。 		

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更することがありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

腎尿管全摘除術(水曜手術)患者さんパスシート(No.5)

ID	
氏名	
生年月日	

診療科名	泌尿器科		
入院予定期間	入院日	年	月 日
	退院日(予定)	年	月 日

月日	/ /		
経過	5日目～6日目(手術後3日目～手術後4日目)		
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・痛みがあるときや気分が悪い時は看護師に伝えましょう。 ・ドレーンや尿の管、点滴の針が抜けないように気を付けましょう。 ・活動範囲を広げましょう。 ・転倒の危険性があること、また転倒予防について理解しましょう。 		
検査	・採血やレントゲン撮影を適宜行います。		
排泄	<ul style="list-style-type: none"> ・自分でも尿の色を注意して見て下さい。 ・排便時強く力まないようにして下さい。 		
観察	<ul style="list-style-type: none"> ・尿の状態(色、量、性状)を観察します。 ・排液の管の状態(色、量、性状)を観察します。 管を抜いた後は、抜いた所からの出血や痛みがないか観察します。 ・痛みの程度を観察します。 		
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・感染予防の為、1日1～2リットルの飲水を目標に飲水して下さい。 		
活動	<ul style="list-style-type: none"> ・制限はありません。 ・病棟を30分以上離れる際にはお申し出ください。 ・ドレーンが抜けている場合はシャワーへ入ることができます。 		
治療	・痛みなど症状に合わせて薬を使用します。		
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> ・早期の回復やお腹の動きを良くするためには、歩行が大切です。少しずつ活動範囲を広げていきましょう。 ・術後は体力の低下や痛みにより転倒しやすい状況です。歩行時は自分のペースで転倒に注意して歩きましょう。 		




このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更することがありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

腎尿管全摘除術(水曜手術)患者さんパスシート(No.6)

ID	
氏名	
生年月日	

診療科名	泌尿器科			
入院予定期間	入院日	年	月	日
	退院日(予定)	年	月	日

月日	/
経過	7日目～11日目「退院日」(手術後5日目～手術後9日目「退院日」)
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・活動範囲を広げましょう。 ・転倒の危険性があること、また転倒予防について理解しましょう。 <p>【退院時の達成目標】</p> <p>①発熱なく全身状態が安定している事 ②傷口が感染なく、閉じている事 ③排尿がある事</p>
排泄	<ul style="list-style-type: none"> ・手術後8日目に尿の管が抜けるか検査をします。検査結果で問題なければ尿の管を抜きます。管が抜けた後は1日の尿量を測定するため、尿をコップでとってください。 ・自分でも尿の色を注意して見て下さい。 ・排便時強く力まないようにして下さい。
観察	<ul style="list-style-type: none"> ・尿の状態(色、量、性状)を観察します。 ・管を抜いた後は、抜いた所からの出血や痛みがないか観察します。 ・痛みの程度を観察します。
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・感染予防の為、1日1～2リットルを目標に飲水して下さい。 ・制限はありません。 <div style="text-align: right;">  </div>
活動	<ul style="list-style-type: none"> ・制限はありません。病棟を30分以上離れる際にはお申し出ください。 ・ドレーンが抜けている場合はシャワーへ入ることができます。
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> ・保険等の書類は退院後に本館1階Aブロック文書受付の窓口へ提出して下さい。(ただし、文書受付窓口は日曜、祝日は受付できません) ・緊急時は日本医科大学付属病院(03-3822-2131)の泌尿器科外来Bブロックまでご連絡下さい。 <p>【退院後の注意点について】</p> <p>①お小水の色が赤く変化し、その状態が1,2回だけではなく、継続するようであればご相談下さい。</p> <p>②尿の量が減少し、お腹の張りや痛みが持続するようであれば、ご相談下さい。</p> <p>③38.5度以上の熱が続くようであれば、病院へご連絡下さい。</p> <p>④傷口は毎日のお風呂で観察しましょう。熱をもっていたり、赤く腫れあがっていたり、膿のようなものが出ていたりしている時にはご連絡下さい。また、傷口を洗う際は、泡立てた石鹸で、優しく洗うようにし、強く擦らないようにしましょう。</p>

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更することがありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

退院後の生活について

- 排泄:
- ・尿が出なくなった場合や、残尿感、尿漏れが悪化した場合は病院受診して下さい。
 - ・下記の血尿スケールでⅡ以上が続くような場合は病院を受診して下さい。
 - ・日頃から便秘にならないように気を付けましょう。



I II III IV V

- 食事:
- ・お酒や刺激物は控えて下さい。
 - ・退院後は水やお茶を1500～2000mlは飲むよう心がけましょう。
- 活動:
- ・散歩といった日常生活上の運動は行っても構いません。
 - ・激しい運動は次回の外来日に担当医師へ確認しましょう。
- 治療:
- ・中止していた薬がある場合は、開始日の確認をして下さい。
 - ・定期的に外来通院をして下さい。
- 説明:
- ・病棟で預かっている物や薬は返却致します。万が一、返却されていない場合は看護師へお申し付け下さい。
 - ・忘れ物がないよう確認し退院して下さい。
 - ・入院費の概算は退院当日に病棟責任者が病屋にお届け致します。
 - ・本館1階の会計窓口又は精算機をご利用下さい。
 - ・次回外来日は(/)です。詳細は予約票を参照してください。
- 緊急時:
- ・38度以上の熱が続く場合は病院へ連絡し確認するか、受診をして下さい。
 - ・緊急時や不安、疑問がありましたら平日9時～16時までは泌尿器科外来へ、休日や祝日、夜間は救急外来へ連絡または受診するようにして下さい。



日本医科大学付属病院
(03)3822-2131